

## 2. 郡山市総合戦略・人口ビジョン（2015～2019）の評価及び改訂

### ■ 全体概要

- 各基本目標に設定された数値目標 14 項目のうち、目標達成及び今後達成見込みを併せると 9 項目（達成率約 64%）となった。また、各事業に係る K P I 49 項目のうち、目標達成及び今後達成見込みを併せると 42 項目（達成率約 86%）となった。
- 定性分析による今後の課題抽出についても各基本目標ごとに実施した。8月に開催した「あすまち会議 こおりやま 2019」による市民の意見や、今後開催予定の有識者会議、パブリックコメントなど産官学労言士の参画により改訂を進める。
- 今回の国の方針でも示された S D G s、関係人口、Society5.0 への対応、広域圏を視野に入れた取組推進などについても反映させる。
- 人口ビジョン改訂にあたり、国が示した社人研推計シートにより人口ビジョンを修正するが、基本的な傾向及び将来目標の考えは、現ビジョンを継続した目標設定とする。（中長期的に 30 万人を維持）

### ■ 郡山市総合戦略の総括評価（概要）

① 各基本目標の進捗状況概要と今後の課題（内部評価による定性分析）

基本目標	評価	課題
基本目標1 しごとみがきと産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>小売業販売額は増加</li> <li>新たな企業立地に伴う新規雇用者数は伸び悩む</li> <li>市内製造事業所と公的研究機関等との産学官連携事業が大幅に増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西部第一工業団地へのさらなる企業誘致</li> <li>医療機器関連産業集積を目指すまちづくり</li> <li>地元農産物のブランド価値の維持・向上</li> <li>I C T等導入による農業の省力化</li> </ul>
基本目標2 ひとの流れと定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流人口は震災前の水準に</li> <li>震災復興に係るコンベンションは減少</li> <li>オリンピック・パラリンピック関連事業は大幅に増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック・パラリンピック以降の純粋な都市力によるコンベンション誘致</li> <li>移住・定住のさらなる促進</li> <li>姉妹都市・友好都市との交流事業のあり方の見直し</li> </ul>
基本目標3 子育て支援・女性の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージに応じた切れ目ない支援環境の整備が進んだ</li> <li>合計特殊出生率は微増（目標達成は困難）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークライフバランスのさらなる推進</li> <li>意思決定過程への女性の参画促進</li> <li>待機児童ゼロの実現</li> </ul>
基本目標4 安全・安心に暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ認証を取得</li> <li>刑法犯認知件数は大幅に減少</li> <li>こおりやま広域圏を形成し地域間連携が進んだ</li> <li>指定管理者制度導入施設は着実に増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>免許証返納事業のさらなる推進・年齢制限撤廃</li> <li>中長期的な視点による圏域の強みを生かした事業展開</li> <li>「こおりやまエリアプラットフォーム」等の活用による P P P のさらなる推進</li> </ul>
基本目標5 笑顔で生きいきと暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気な高齢者数は増加</li> <li>特定健康診査の受診率は微増にとどまる</li> <li>認知症の方の支援環境の整備が進んだ</li> <li>禁煙・分煙実施施設数は着実に増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康意識啓発のさらなる推進</li> <li>特定健康診査受診のさらなる呼びかけ</li> <li>増加傾向にある障がい者からの相談に対応するために委託業者との更なる連携推進</li> </ul>
基本目標6 誰もが楽しく学べる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習の満足度は低下</li> <li>教育現場での I C T環境の整備が進んだ</li> <li>こおりやま広域圏での図書相互貸出サービスの準備が進んだ（令和元年 10 月開始予定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習ニーズの多様化への対応（学習機会の提供、学習環境の整備）</li> <li>教育現場の I C T環境整備のさらなる推進</li> <li>若年層の公民館利用促進</li> </ul>

② 各基本目標に定める K P I の達成状況（定量的評価）

郡山市	1 しごとみがきと産業の活性化	2 ひとの流れと定住の促進	3 子育て支援・女性の活躍推進	4 安全・安心に暮らせるまちづくり	5 笑顔で生きいきと暮らせるまちづくり	6 誰もが楽しく学べる環境づくり	計	達成率
基本目標の数値目標（各基本目標に係る K P I）	○	2	1	0	2	0	5	64%
個別施策の K P I（各事業の K P I）	○	7	5	1	4	4	26	86%
	△	3	4	4	1	3	16	
	×	2	0	3	1	0	7	14%

【参考】福島県	1 しごとみがきと産業の活性化	2 ひとの流れと定住の促進	3 子育て支援・女性の活躍推進	4 安全・安心に暮らせるまちづくり	5 笑顔で生きいきと暮らせるまちづくり	6 誰もが楽しく学べる環境づくり	計	達成率
成果目標 K P I	A	2	3	2	0	7	100%	
	B	0	1	0	1	2		
	C	0	0	0	1	1		
	D	0	0	0	0	0	0%	
各施策 K P I	A	15	6	7	5	33	84%	
	B	8	5	2	0	15		
	C	7	0	0	1	8		
	D	6	2	3	0	11	16%	

【参考】国	1 しごとみがきと産業の活性化	2 ひとの流れと定住の促進	3 子育て支援・女性の活躍推進	4 安全・安心に暮らせるまちづくり	5 笑顔で生きいきと暮らせるまちづくり	6 誰もが楽しく学べる環境づくり	計	達成率
基本目標 K P I	A	1	0	1	1	3	67%	
	B	2	0	1	4	7		
	C	0	0	0	0	0		
	D	0	3	2	0	5	33%	
各施策 K P I	A	2	2	1	4	9	96%	
	B	26	14	13	14	67		
	C	8	2	0	4	14		
	D	2	1	0	1	4	4%	

※ ○：目標達成又は 2019 年度中に達成見込み  
△：2020 年度以降に達成見込み  
×：目標達成が見込まれない

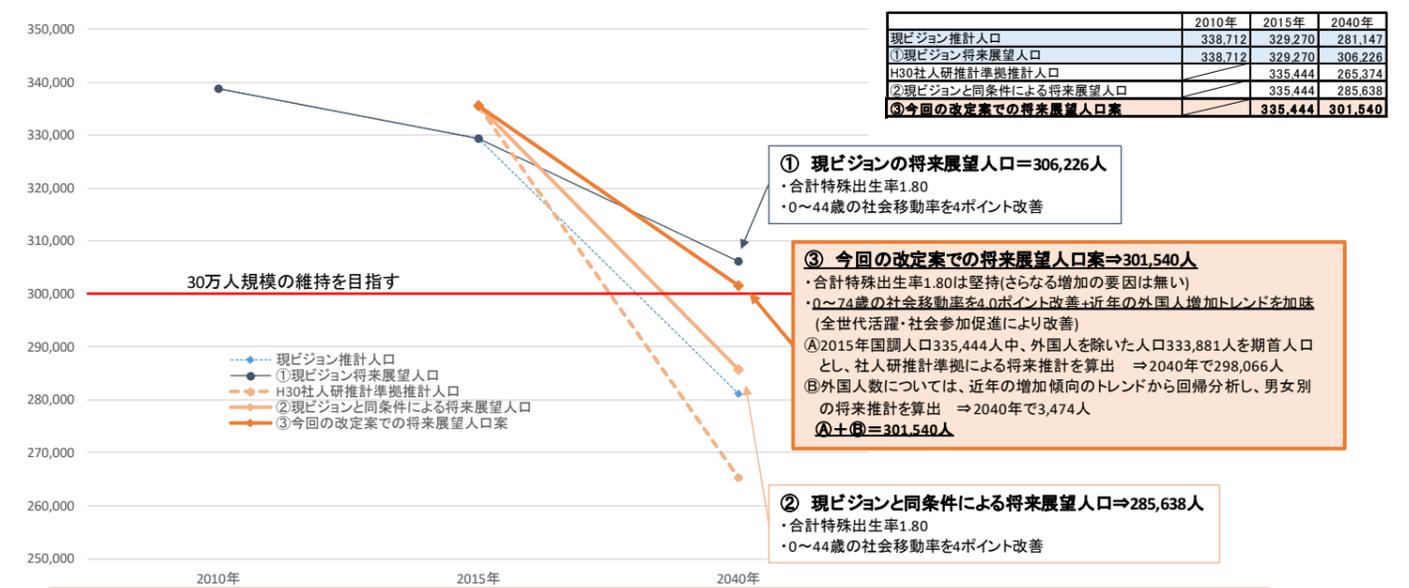
※ A：非常に効果的であった（実績が目標値の 100%以上）  
B：相当程度効果があった（実績が目標値の 70%～100%未満）  
C：効果があった（実績が目標値の 0%～70%未満）  
D：効果がなかった

※ ①A：数値目標を達成  
①B：数値目標を達成していない  
①C：数値目標を定めていない  
②：目標達成に向けた政策効果が発現していない

### ■ 郡山市の人口の推移（予想）

人口ビジョンの改訂に向けた将来展望人口算出に当たり、今後、合計特殊出生率や社会移動率等の改善について検討する。

#### 本市人口ビジョン改定にあたっての将来展望人口(案)推計について



**将来展望人口案作成における考え方**

①国の次期人口推計の方針: 大きな変更無し(2060年に1億人程度を維持するという現ビジョンの方針を堅持)

②国が示す「第二期における6つの新たな視点」の傾向  
・6つの視点はいずれも「出生率の向上」より「地方への人や資金の還流、SDGsやsociety5.0活用による地域活力向上、女性や高齢者の活躍」に注力 ⇒社会移動率の更なる向上及び対象年齢層の拡大(元気高齢者の地域における活用)により展望人口実現を目指す

③2020年度における各分野の主要な取組みの傾向  
・「関係人口創出」「地方への本社機能移転」「海外から稼ぐ」「society5.0実現」「地方創生担い手組織と協働」「地域人材育成のための高校改革」「スポーツによる健康増進」「スマートシティ」など社会移動率の向上、地域における活躍の対象者拡大に資する取組が大勢を占め、出生率向上については、「個々人の希望をかなえる少子化対策」の1項目のみ⇒②と同様の傾向



# 郡山市総合戦略 評価・検証について

## 1. 評価の概要

本市では「人口減少・地域経済縮小克服」及び「復興力の維持・強化」を目指して、2015(平成27)年度に「郡山市総合戦略」を策定しました。(対象期間：2015(平成27)～2019(平成31)年度の5年間)  
 この地方版総合戦略については、2019(令和元)年度に最終年度を迎えることから、総括的な評価・検証を実施し、2020(令和2)年度からの次期総合戦略として改定を進めています。

## 2. 評価の手法

- ・ K P I の現状値把握及び達成状況、総合的な取組についての定性評価を実施。
- ・ 新たに S D G s のゴールとの関係性を明記。

### ◇ 達成状況(見込)について

達成状況(見込)については、2019(平成31)年度の目標値達成に向けて、取組開始時点から2018(平成29)年度までの実績値がどのような傾向にあるかを「3つの記号」で示します(右表参照)。

単年度の成果だけでなく、本総合戦略の始期である2015(平成27)年度から現時点までの総合的な傾向を評価しています。

数値目標・K P I	達成状況(見込)	基準
	○	目標達成したもの、2019年度中に達成見込みのもの
	△	概ね順調に推移しており、2020年度以降に目標達成が見込まれるもの
	×	目標達成が見込まれないもの

## 3. 市民、外部有識者の意見

### これまでの経過

○2019年8月  
 市民会議「あすまち会議こおりやま2019」にて、本市内部評価について市民の方から意見をいただきました。



### 今後の予定

○令和2年1月29日  
 「郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」にて、有識者の方から意見をいただきます。  
 ○令和2年2月～3月  
 パブリックコメントを実施し、市民の方から意見をいただきます。

<p>【基本数値目標の達成状況（見込）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「小売業商品販売額」は順調に伸び、目標値を達成したが、「製造品出荷額等」は期間中の大企業撤退が要因と考えられる大幅な落ち込みから回復傾向にあるものの、今後さらに新産業の創出等、付加価値が高い工業の振興を図っていく必要がある。</li> <li>■ 西部第一工業団地を中心に、企業誘致・雇用確保についてさらなる対策を検討する必要がある。</li> <li>■ 農業法人数については目標値を達成した。</li> </ul> <p>【各施策の総合評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施策1及び2について、創業支援や企業誘致、産学官連携等に係る取組により、各KPIが概ね増加傾向にある。</li> <li>■ 施策3について、地域と連携して開発した商品やあさか舞の販売量増等、進展がみられるが、より積極的なPR・販売促進を図り、農業の活性化を進めていく必要がある。</li> <li>■ 施策4について、新規高等学校卒業者の県内企業への就職内定率が大幅に向上し、就職環境の改善が図られている。</li> </ul>		<p>SDGsのゴール</p> 	<p>&lt;あすまち会議こおりやま2019参加者の評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生が仕事に触れる機会の充実が必要。</li> <li>・若者への地元企業の魅力発信や、RPAの活用等により労働環境の改善が必要。</li> </ul>			
数値目標	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）	
1	小売業商品販売額	商業統計調査及び経済センサスに基づく小売業商品販売額	3,406億円/年（2012）	4,337億円/年（2016）	4,240億円/年（2017）	○
2	製造品出荷額等	工業統計調査及び経済センサスに基づく製造品出荷額等	8,411億円/年（2013）	7,101億円/年	8,800億円/年（2017）	×
3	新たな企業立地に伴う新規雇用者数	西部第一工業団地等への企業立地に伴う新規雇用者数	—	257人	1,500人	×
4	農業法人数	市内の農業法人の数	27法人	45法人	35法人	○

施策1：本市の地理的優位性を生かした積極的な企業誘致と新たな市場開拓

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）	
1	創業・起業数	市内において、新たに創業・起業した人の数	54件/年	50件/年	86件/年	△
2	郡山西部第一工業団地等への企業立地件数	郡山西部第一工業団地等への企業立地件数	—	4件/年	5件/年	△
3	企業マッチング数	産業博により進出企業と地元企業等が新たな取引を開始する件数	0件/年	64件/年	15件/年	○

【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】

- 起業・創業を支援するネットワークを活用し、創業者支援件数を増加させた。
- 企業訪問や首都圏等でPR活動をするなど、積極的な企業誘致活動を実施し、企業の本市進出へつなげた。

⇒【課題】西部第一工業団地への誘致をさらに積極的に進めていく必要がある。

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
創業者支援件数	428件	958件	597件	○

施策2：研究機関と地元企業が連携した新産業の創出

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）	
1	産学官コーディネーター数	研究機関と地元企業等のニーズ・シーズの把握によるマッチング件数	—	23件/年	5件/年	○
2	新規に産学官連携による共同研究に参画した企業数	大学や公設研究機関等と連携し共同研究を実施する企業の件数	—	21件/年	3件/年	○

【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】

- 市内製造事業所と公的研究機関等との連携推進事業を実施することにより、産学官連携による新事業創出を図った。

⇒【課題】医療機器開発支援センターを核とした、医療機器関連産業集積を目指すまちづくりの検討を進める必要がある。

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
連携推進事業への参加人数	679人	670人	1,000人	△

施策3：農業の構造改革による成長産業化

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）	
1	地域と連携して開発した商品数	農商工観連携により創出された商品数（累計）	1件	8件	3件	○
2	ワイン用ブドウ生産農家数	「ふくしま達瀬ワイナリー」産地形成によるワイン用ブドウ生産農家数	0戸	13戸	10戸	○
3	国内・国外における郡山産米「あさか舞」販売量	郡山産米「あさか舞」の国内外における販売量	1,747 t/年	1,760 t/年	2,000 t/年	△
4	鯉養殖生産量（県南鯉養殖漁業協同組合）	県南鯉養殖漁業協同組合における鯉養殖生産量	550 t/年	797 t/年	600 t/年	○

【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】

- ワイン用ブドウ等の新たな農産物の導入や、本市の歴史に基づく食文化や地域資源である農産物の再構築によるブランド化を進め、付加価値の向上と販売力の向上に努めた。

⇒【課題】今期で確立したブランド価値の維持とさらなる向上を図るとともに、生産性の向上を図るためのICT等導入による省力化を推進する必要がある。

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
園芸用施設設置面積	781,000㎡	822,800㎡	810,000㎡	○

施策4：誰もが安心して働くことができる就業機会の確保

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）	
1	新規高等学校卒業者の県内企業への就職内定率	ハローワーク郡山管内における就職希望の新規高卒者の県内就職内定率	78%	99%	80%	○
2	資格取得し県内企業に就職した高校生等の数	資格取得し県内企業に就職した高校生等の数	—	7人	30人	×
3	就労体験事業受講者の県内企業への就職率	就労体験事業受講者の県内企業への就職率	38%	19%	40%	×

【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】

- 新規高等学校卒業者については、県内就職内定率は高いが、市外へ転出した若者が地元に戻り、働き、住み続けることを可能とするには、地元企業の情報だけでなく、本市の強みや魅力の発信がますます必要となる。
- また、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代、高齢者、障がい者や女性の社会参加など、誰もが働きやすい職場環境の整備や人材育成については、関係部署と連携を図りながら強化していく必要がある。
- 障がい者就労施設で作製した弁当等の販売により、障がい者授産製品の売上が増加した。当該事業の効率化を図るため、2019年度から指定管理者制度を更新した障害者福祉センターで事業を実施している。

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
障がい者授産製品の売上	4,884千円	10,277千円	10,300千円	○

<p><b>【基本数値目標の達成状況（見込）】</b>                  ■ 交流人口（観光客入込客数）は震災後大きく落ち込んだが、年々回復基調にあり2018年実績は震災前の約92.5%まで回復した。2019年についても各種プロモーション活動等により前年度同時期と比較し増加しているため目標達成予定である。</p> <p><b>【各施策の総合評価】</b>                  ■ 施策1について、コンベンション開催件数の増加により、交流人口（観光客入込客数）の拡大が図られている。                  ■ 施策2について、スポーツ関連実績の増加等、交流人口の拡大が図られている。                  ■ 施策3について、移住・定住につながる情報提供を積極的に行い、農業・農村に対する関心の拡大につなげた。</p>		<p><b>SDGsのゴール</b></p> 	<p>&lt;あすまち会議こおりやま2019参加者の評価&gt;                  ・個人がSNS等で郡山市の魅力を発信することが有効。                  ・公共交通を充実させ、車がなくても暮らしやすいまちづくりが必要。</p>		
数値目標	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）
1	社会移動率	—	調査中	最大約4ポイント改善（2040年）	調査中
2	交流人口（観光客入込客数）	362万人／年	477万人	480万人／年	○

施策1：地域資源を活用した観光誘客と情報発信

【主な取り組み状況、成果、課題等】	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）																				
1	こおりやまファンクラブ加入者数	1,214人	1,487人	2,000人	△																				
2	コンベンション開催件数	850件／年	877件／年	(H26の850件／年)維持	○																				
<p><b>【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】</b>                  ■ こおりやまファンクラブ加入者数は50人/年のペースで増加しているものの、目標値達成には至っていない。各種イベントでの積極的なPRをすることにより、ファンクラブ加入者の獲得に努める。                  ■ (公財)郡山コンベンションビューローの首都圏等の営業及びMICE開催時の各種支援等により、一定数のコンベンション開催件数を確保し、地域経済の活性化に貢献した。                  ⇒【課題】震災復興に伴うコンベンション開催は減少傾向にある。2020東京オリンピック・パラリンピック以降開催のコンベンションについて、純粋な都市力により誘致活動をする必要があり、関係部局との連携がさらに必要である。                  ■ 観光誘客事業について、首都圏等での商談会への参加、広域観光ルート造成と情報発信を実施した。                  ■ インバウンド観光推進事業について、インバウンド向け商談会への参加、多言語観光ウェブサイトの運用、多言語観光パンフレットの作成等を実施した。</p>		<p><b>【参考】観光誘客事業</b></p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> <tr> <td>観光客数</td> <td>3,622,596人</td> <td>4,770,379人</td> <td>4,800,000人</td> <td>○</td> </tr> </table> <p><b>【参考】インバウンド観光推進事業</b></p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> <tr> <td>外国人宿泊者数</td> <td>2,790人</td> <td>9,160人</td> <td>11,000人</td> <td>○</td> </tr> </table>				主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	観光客数	3,622,596人	4,770,379人	4,800,000人	○	主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	外国人宿泊者数	2,790人	9,160人	11,000人	○
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）																					
観光客数	3,622,596人	4,770,379人	4,800,000人	○																					
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）																					
外国人宿泊者数	2,790人	9,160人	11,000人	○																					

施策2：歴史、音楽などの文化振興とスポーツ環境の充実

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）										
1	市民音楽祭参加団体数	207団体	205団体	230団体	△										
2	「開成館」「歴史資料館」入場者数	13,765人	14,779人	前年比10%増加	△										
3	2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業数	5件	18件	10件	○										
4	市内プロスポーツ試合観戦来場者数	40,911人	48,106人	40,000人	○										
5	市民一人当たりのスポーツ施設利用回数	3.4回／年	3.5回／年	4回／年	△										
<p><b>【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】</b>                  ■ 市民音楽祭参加団体数は、近年は横ばいであるが、音楽祭以外の市民の自主的な音楽活動が活発化しており、それらの活動状況の把握が今後の課題である。                  ■ 2016年の日本遺産認定により地域の歴史への関心が高まり、「開成館」「歴史資料館」入場者数は増加傾向にある。                  ■ 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会を来年に控え、各種事業やイベントを積極的に推進した。                  ■ プロチームと連携した各種事業を多く実施し、プロスポーツのPRを図ったことにより来場者数が増加した。                  ■ しんぎん開成山プールや熱海フットボールセンター等の新規体育施設を整備し、市民が利用できる体育施設が増加したことで年間利用者数も増加した。</p>		<p><b>【参考】郡山シティーマラソン大会</b></p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> <tr> <td>大会参加者数</td> <td>7,065人</td> <td>8,277人</td> <td>7,500人</td> <td>○</td> </tr> </table>				主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	大会参加者数	7,065人	8,277人	7,500人	○
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）											
大会参加者数	7,065人	8,277人	7,500人	○											

施策3：誰もが訪れたい「まち」の魅力を高めた移住・定住環境の整備

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）										
1	農業・農村体験イベント参加者数	252人	648人	600人	○										
2	農家民泊宿泊者数	158人	211人	200人	○										
3	市内大学・短大・専門学校の学生数	10,799人	10,796人	維持	○										
<p><b>【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】</b>                  ■ 農業・農村体験イベント参加者数及び農家民泊宿泊者数ともに2018年時点で目標値を達成した。引続き事業を推進し移住・定住の促進につなげたい。                  ■ 友好都市（つくば市）との交流事業及び国際交流推進セミナーにおいて、交流人口の増加を図った。今後は姉妹都市・友好都市との交流事業のあり方について実施手法を含めた見直しを検討する必要がある。</p>		<p><b>【参考】都市間等交流推進事業</b></p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> <tr> <td>姉妹都市等との交流人口</td> <td>97人</td> <td>274</td> <td>50</td> <td>○</td> </tr> </table>				主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	姉妹都市等との交流人口	97人	274	50	○
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）											
姉妹都市等との交流人口	97人	274	50	○											

# 基本目標3：子育て支援・女性の活躍推進

<p>【基本数値目標の達成状況（見込）】</p> <p>■ 合計特殊出生率は微増となっているものの、目標値と実績値の間には開きがあるため、引き続き各施策の推進に努め2040年度での目標値達成を目指す。</p> <p>【各施策の総合評価】</p> <p>■ 施策1について、ライフステージに応じた切れ目ない支援環境の整備が進んだものの、待機児童の解消には至らず、目標値達成は困難な状況である。</p> <p>■ 施策2について、子ども達の遊び場の新設等体力向上のための環境の整備が進んだものの、子ども達の体力・運動能力は全国平均よりも低く、目標値達成は困難な状況である。</p> <p>■ 施策3について、女性活躍推進や育児サポートに係る環境づくりが進んでおり、ワークライフバランスの実現に向けた取り組みが促進されているものの、目標値達成は困難な状況である。</p>		<p>SDGsのゴール</p> 	<p>&lt;あすまち会議こおりやま2019参加者の評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業による子育て支援の充実や、場所や時間にとられない働き方の普及が必要。</li> <li>・気軽に子育て相談ができるよう世代間交流の場が必要。</li> </ul>		
数値目標	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）
1	合計特殊出生率	1.49	1.50（2017年が最新値）	1.8（2040年）	△
2	自然増加数（出生数）	2,694人／年	2,510人／年	3,000人／年	×

## 施策1：結婚～妊娠～出産～子育ての切れ目ない支援

【主な取り組み状況、成果、課題等】	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）																				
1	待機児童数（認可保育所等）	115人	133人	0人	×																				
2	市民意識調査の結果における「子育て」の満足度	58.4点	58.5点	70点	△																				
<p>【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】</p> <p>■ 期間中にかけて35の認可保育施設（定員1,676人分）を整備したが、特に1～2歳児の待機児童の解消には至っていない。現在、未就学児の人口は減少傾向にあるが、引き続き保育ニーズの高まりに対応する必要がある。なお、各年4月1日現在の待機児童数で見ると、2017年度の64人をピークに、2018年度は45人、2019年度は20人と解消に向け着実に前進している。</p> <p>■ 市民意識調査結果における「子育て」の満足度の点数は、2014年度と比較して0.1点の上昇であるが、順位は2014年度18位から2018年度10位に上昇しており、概ね取組目標を達成している。</p>		<p>【参考】地域子育て支援センター事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> <tr> <td>子育て支援センター事業利用者数</td> <td>17,050人</td> <td>43,624人</td> <td>50,000人</td> <td>△</td> </tr> </table> <p>【参考】妊産婦健康診査事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> <tr> <td>妊産婦健康診査受診者数</td> <td>30,726人</td> <td>30,636人</td> <td>30,240人</td> <td>○</td> </tr> </table>				主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	子育て支援センター事業利用者数	17,050人	43,624人	50,000人	△	主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	妊産婦健康診査受診者数	30,726人	30,636人	30,240人	○
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）																					
子育て支援センター事業利用者数	17,050人	43,624人	50,000人	△																					
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）																					
妊産婦健康診査受診者数	30,726人	30,636人	30,240人	○																					

## 施策2：子どもたちが健やかに成長できる体力向上等の環境づくり

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）																				
1	体力・運動能力調査の全国との比較割合	小学校5年生：37.5% 中学校2年生：12.5%	小・義5年生：25.00% 中2・義8年生：56.25%	小・義5年生：62.5% 中学校2・義8年生：62.5%	△																				
2	育児家庭訪問実施数	82件	68件	71件	△																				
3	3歳児健診虫歯有病者率	25.4%	17.2%	20.0%	○																				
<p>【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】</p> <p>■ 子どもたちの体の成長に伴い、体力・運動能力調査の記録は年々向上しており、震災直後の結果と比較すると全国との差は縮まっているものの、未だ全国平均よりも低く、教員の指導力向上と体育授業の質的改善が必要である。</p> <p>■ 2016年度に市内の東西南北4カ所に子どもの遊び場を新設し子どもたちが思う存分、元気に運動できる環境の整備が完了したため、2016年度末で旧夏出分校体育館の屋内遊び場確保事業を終了した。</p>		<p>【参考】子どもの遊び場</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>開設年度2016</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> <tr> <td>子どもの遊び場利用者</td> <td>9,131人</td> <td>140,649人</td> <td>148,000人</td> <td>△</td> </tr> </table> <p>【参考】保育所地域ふれあい事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> <tr> <td>保育所地域活動事業参加者数</td> <td>11,595人</td> <td>27,751人</td> <td>21,000人</td> <td>○</td> </tr> </table>				主な成果指標	開設年度2016	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	子どもの遊び場利用者	9,131人	140,649人	148,000人	△	主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	保育所地域活動事業参加者数	11,595人	27,751人	21,000人	○
主な成果指標	開設年度2016	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）																					
子どもの遊び場利用者	9,131人	140,649人	148,000人	△																					
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）																					
保育所地域活動事業参加者数	11,595人	27,751人	21,000人	○																					

## 施策3：全ての人が働きやすくなるワークライフバランスの実現

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）																				
1	審議会・委員会等の女性委員登用率	29.70%	27.7%	40.0%（2017）	×																				
2	ファミリーサポートセンター活動件数	2,829件	3,189件	4,300件	△																				
3	育パサポート奨励金支給人数	—	3人	100人	×																				
<p>【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】</p> <p>■ 女性委員の登用促進に向けた働きかけを行っているものの、目標値に達していない状況である。</p> <p>⇒【課題】「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」や「女性活躍推進法」に基づき、意思決定過程への女性の参画促進に向けた意識啓発等を行う必要がある。</p> <p>■ 「こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議」や男女共同参画に係る講座等をとおして、ワークライフバランス推進や女性活躍への意識改革を図った。</p> <p>⇒【課題】構築したネットワークの活性化や新たな事業展開等により、さらなる女性活躍推進を目指す必要がある。</p> <p>■ ファミリーサポートセンター活動件数について、2016年（平成28年度）から会員は年1回更新が必要になり、会員は減少したが利用件数は年々増加している。働く女性の仕事と育児の両立を支援する当事業のニーズは今後も増加することが見込まれる。</p> <p>■ 平成30年度「雇用均等基本調査」によると男性の育児休業取得率は6.16%であり、2014年度の取得率2.3%と比較しても3.86%しか伸びていない。過重労働の解消や各種休暇制度の充実と年次有給休暇の取得促進等の「働き方改革」、テレワーク等の推進によるワークライフバランスの充実など「魅力ある職場づくり」の推進を継続する必要がある。</p>		<p>【参考】一時的保育事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> <tr> <td>一時保育の利用人数（のべ）</td> <td>17,626人</td> <td>16,998人</td> <td>26,000人</td> <td>△</td> </tr> </table> <p>【参考】女性活躍推進事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> <tr> <td>こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議参加団体</td> <td>21団体</td> <td>38団体</td> <td>40団体</td> <td>○</td> </tr> </table>				主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	一時保育の利用人数（のべ）	17,626人	16,998人	26,000人	△	主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議参加団体	21団体	38団体	40団体	○
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）																					
一時保育の利用人数（のべ）	17,626人	16,998人	26,000人	△																					
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）																					
こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議参加団体	21団体	38団体	40団体	○																					

<p>【基本数値目標の達成状況（見込）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ セーフコミュニティ認証取得（2017）後、継続した活動を実施している。</li> <li>■ 連携協約の締結、都市圏ビジョン策定等により、こおりやま広域圏を形成した。</li> </ul> <p>【各施策の総合評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施策1について、セーフコミュニティ活動や関係団体、機関による各種取り組みが推進されており、交通死亡事故や犯罪件数が減少傾向にある等、KPI上においても進展が確認できる。</li> <li>■ 施策2について、「公共施設等総合管理計画」や「PPP（官民連携）導入指針」が策定されており、今後、各種公共施設の有効活用や官民連携等の効果的手法をより積極的に展開していく必要がある。</li> <li>■ 施策3について、2019年3月に連携協約を締結したことで、様々な分野で広域的な視点に立った施策を展開している。</li> </ul>			<p>SDGsのゴール</p> 		<p>&lt;あすまち会議こおりやま2019参加者の評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水害に強いまちになってきている。</li> <li>・ 悩みを気軽に相談できるよう、全世代・世代別交流の場の充実が必要。</li> </ul>	
数値目標	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）	
1	セーフコミュニティ認証取得及び活動の継続	—	認証取得（2018年2月2日）	認証取得（2017）及び活動の継続	○	
2	連携中枢都市圏の形成	—	形成（2019年3月19日）	連携協約の締結を目指す	○	
3	こおりやま広域圏における人口	約60.8万人（2010国勢調査）	約59万人（2015国勢調査）	（策定時の約58万人）維持	△	

施策1：災害、事故・犯罪のない安全・安心なまちづくり

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）
1	消防団団員数	2,530人	2,416人	（2014の2,530人）維持	×
2	市内交通事故死者数	11人	9人	10%減少	○
3	犯罪発生件数	3,341件	2,268件	10%減少	○

【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】

- 交通安全教室の実施や交通安全団体の活動支援、セーフコミュニティ活動との連携等により交通事故件数及び死者数は減少した。今後は免許証返納推進事業の年齢制限撤廃、保険加入促進などの啓発を推進する。
- 声かけ事業なども多発していることから、青色回転灯パトロール、違法客引きゼロ対策パトロール等の実施により、市民の防犯に対する意識の向上が図られるとともに、刑法犯認知件数は減少した。

【参考】町内会活動促進事業

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
町内会加入世帯数	88,470世帯	88,938世帯	88,302世帯	○

【参考】自主防災組織活動支援事業

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
自主防災組織での防災訓練実施回数	41回	42回	42回	○

施策2：既存ストックマネジメントの強化

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）
1	公共施設延床面積縮減率	—	調査中	4.5%縮減（2025）	△
2	民間提案を生かしたPPPによる施設の管理運営数	48施設	50施設	55施設	○

【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】

- 公共施設等総合管理計画個別計画を策定し、公共施設延床面積の縮減目標値の達成を目指している。
- 事業別財務諸表を活用し、公共施設の受益と負担のあり方について検討し、使用料等の見直しを進めている。
- ⇒ 【課題】財務諸表を予算編成等へ活用するだけでなく、自治体間での事業分析などにも活用できるように取り組む必要がある。
- PPPによる効果的・効率的な管理運営の「指定管理者制度導入計画」を策定し、計画的な検討及び導入を図ってきたことにより、順調に導入施設が増加し、目標値（2019）を達成する見込みである。
- 今後も「こおりやまエリアプラットフォーム」等を活用しながら、幅広く民間事業者のPPP参入意向を把握し、民間活力の活用による施設の管理運営を推進していく。

【参考】新公会計制度・複式簿記制度導入事業

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	
財務諸表作成	会計別財務諸表	-	30会計	30会計	○
	歳出目別（課別）財務諸表	-	101目	101目	○
	事業別財務諸表	-	85事業	87事業	△

※このほか、2016年度決算年より参考として4企業会計についても会計別財務諸表を作成

施策3：地域連携による活力ある持続可能な都市圏の形成

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）
1	広域行政で連携して実施している事業数（こおりやま広域圏における連携事業数）	19事業	65事業	20事業	○

【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】

- 15市町村で構成する連携推進協議会において合意形成、事業創出を着実に進め、都市圏ビジョンを策定し、圏域の形成に至った。
- ⇒ 【課題】今後は中長期的な視点に立ち、圏域の強みを生かした事業展開を図るとともに、施策間・地域間・主体間連携（公民連携）の促進を図る必要がある。
- 「都市計画マスタープラン2015」及び「郡山市立地適正化計画」との整合を図りつつ、こおりやま広域圏の中心市として圏域の発展に寄与するよう「郡山市中心市街地機能活性化ビジョン」を策定し、公表した。

【参考】中心市街地活性化推進事業

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
活性化推進事業参加者数	69人	28人	—	—

# 基本目標5：笑顔で生きいきと暮らせるまちづくり

<p><b>【基本数値目標の達成状況（見込）】</b></p> <p>■ 要介護認定者数は増加傾向にあるが、結果的に高齢者人口から要介護認定者数を差し引いた元気高齢者数の実績値は目標値に対して低い状況であるものの、2020年度以降は目標達成が見込まれる。</p> <p>■ 特定健康診査受診率については、年々受診率は上昇の傾向であるものの、実績値37.8%と低く、目標達成は見込めない状況である。</p> <p><b>【各施策の総合評価】</b></p> <p>■ 施策1及び2について、高齢者や障がい者等への各種支援の実施により、高齢者外出数（高齢者健康長寿サポート事業）が増加する等、健康長寿延伸、社会参画等が図られている。</p> <p>■ 施策3について、健康増進法の一部改正の周知と併せ、「空気のきれいな施設」認証制度の周知を行い、参加事業所数が大幅な増加となるなど、健康意識の高まりが見られた。</p>		<p><b>SDGsのゴール</b></p> 	<p>&lt;あすまち会議こおりやま2019参加者の評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における世代間交流ができるまちづくりが必要。</li> <li>・場所や時間に捉われない働き方を推進し、ワークライフバランスの推進が必要。</li> </ul>		
数値目標	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）
1 元気高齢者数	介護保険制度における要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者の数	62,947人	68,323人	70,000人	△
2 特定健康診査の受診率	市国民健康保険に加入している40歳から75歳未満の方の特定健康診査受診率	32.3%	38.2%	60.0%（2017）	×

## 施策1：高齢者が健康で生きがいを持って暮らせるまちづくり

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）
1 高齢者健康長寿サポート事業により増加した高齢者の外出数	高齢者健康長寿サポート事業により増加した高齢者の外出数	延べ65,679回（2015.4～10）	延べ231,192回	延べ120,000回	○
2 緊急通報システム設置世帯における孤独死者数	緊急通報システム設置世帯における孤独死者数	0件	0件	（2014の0件）維持	○

**【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】**

■ 事業開始当初と比較し、本事業を活用した外出機会は増加した。今後は、高齢者の健康増進及び社会参加促進のために本事業がより効果的に実施できる方策を検討する必要がある。

■ 緊急通報システムの設置世帯では、緊急通報装置・火災報知機等によって緊急事態に迅速に対応できており、定期的な安否確認を行うことで孤独死を未然に防いでいる。今後も、より事業の周知を図り利用者を増加させていく必要がある。

**【参考】高齢者の生きがいと健康づくり事業**

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
スポーツ大会参加者数	741人	741人	800人	△

**【参考】いきいきデイクラブ事業**

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
延べ利用者数	8,512人	7,085	10,278	×

## 施策2：支える人も支えられる人も笑顔で暮らせるやさしいまちづくり

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）
1 認知症サポーター養成者数	認知症サポーター養成講座の受講者数	8,422人	30,188人	55,000人	△
2 郡山市認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会加盟団体数	郡山市認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会加盟団体数	57団体（2015.11発足時）	107団体	100団体	○

**【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】**

■ 認知症サポーター養成講座数は小中学生を中心に増えているが、受講率の低い働き世代を中心に認知症サポーター養成講座の受講を働きかける。認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会の加盟団体は、国の認知症官民協議会等の動きや民間企業の認知症の見守り体制の理解が促進し、加盟団体が増加した。

■ 障がい者スポーツ教室参加者数は横ばいであり、更なるPRが必要である。民間ノウハウの活用による事業の効率化を図るため、市における当該事業の実施は2018年度で完了し、2019年度から指定管理者制度を更新した障害者福祉センターで事業を実施している。

**【参考】障がい者の社会参加及び障がい者理解促進事業**

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
障がい者スポーツ教室参加人数	399人	373人	390人	△

**【参考】一般介護予防事業**

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
住民主体の通いの場活動箇所数	0箇所	94	110	○

## 施策3：全ての市民が健康で生きいきと暮らせるまちづくり

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）
1 禁煙・分煙実施施設数	市内において禁煙・分煙を実施している事業所等の数	234施設	287(2017)	500施設（2017）	○
2 食育に関する市民の認知度	食育について理解している成人の数	95%	96%	100%	△
3 医療相談件数	医療相談窓口寄せられた相談、苦情の件数	347件/年	442件/年	250件/年	△

**【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】**

■ 市民の健康づくりの推進に向け、受動喫煙防止対策、食生活改善・各種検診の推進等を行った。今後も民間企業などとの連携を推進し、健康寿命の延伸に取り組む必要がある。

■ 障がい者に対する相談業務及び基幹相談支援センターを委託している法人では年々相談件数が増加しており、委託事業者と市が連携を図りながら継続して事業を実施する必要がある。

**【参考】救急医療体制確保事業**

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
休日・夜間救急センター受診者数	18,104人	15,234人	15,000人	○

**【参考】障がい者相談支援事業**

主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）
障がい者相談件数（障害者支援相談員）	15,034人	24,316人	21,000人	○

<p>【基本数値目標の達成状況（見込）】</p> <p>■ 図書貸出冊数は、中央図書館の耐震改修等工事に伴う長期休館の影響があることから、目標値の達成は難しいと見込まれる。</p> <p>【各施策の総合評価】</p> <p>■ 生涯学習の満足度が低下し目標達成が見込めない状況であることから、学習機会に係る積極的な周知及び市民ニーズを踏まえた事業展開を図るとともに、学習成果を生かすことができる環境の整備についても進める必要がある。</p> <p>■ 施策1について、教職員対象研修の増加やICT環境の整備により、教育環境の充実が図られている。</p> <p>■ 施策2について、英語教育の充実や海外交流の促進等をおして、人材育成が図られている。</p> <p>■ 施策3について、ニーズの多様化に対応した学習機会の提供や、学習成果を生かすことができる環境整備等、さらなる効果的な事業展開を図る必要がある。</p> <p>図書貸出冊数は、中央図書館の耐震改修等工事に伴う長期休館の影響があることから、目標値の達成は難しいと見込まれる。</p>		<p>SDGsのゴール</p> 	<p>&lt;あすまち会議こおりやま2019参加者の評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング教育などのICT教育の充実が必要。</li> <li>・多様な人が活躍できる場の創出が必要。</li> </ul>		
数値目標	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）
1 市民意識調査における「生涯学習」の満足度	市民意識調査における「生涯学習」の満足度	64.2点	56.9点	80.0点	×

施策1：全国トップレベルを目指した教育環境の充実

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）										
1 教育用パソコン・タブレット端末等1台当たりの児童生徒数	小中学校における教育用パソコン・タブレット端末等1台当たりの児童生徒数	7.6人/台	6.0人/台	3.6人/台	○										
2 教職員の研修講座参加者数	教職員の研修講座参加者数	4,342人	6,536人	5,000人	○										
<p>【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】</p> <p>■ 2020年度からの改訂学習指導要領の達成に向け、小中学校ともに、少なくとも3人に1台以上のタブレット端末を追加整備の必要がある。</p> <p>■ 学校が抱える課題が複雑化、多様化する中、現場のニーズに応じた研修を計画的に実施し、参加者は6,000名を超えており、研修の成果を児童生徒への指導に役立てている。</p>		<p>【参考】心のハーモニー学校音楽振興事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合唱・合奏交流事業等参加者数</td> <td>2,741人</td> <td>2,635人</td> <td>2,500人</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	合唱・合奏交流事業等参加者数	2,741人	2,635人	2,500人	○
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）											
合唱・合奏交流事業等参加者数	2,741人	2,635人	2,500人	○											

施策2：世界的視野で活躍できるグローバルな人材の育成

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）										
1 海外派遣事業における派遣者数	海外派遣事業における海外派遣者数（累計）	6人	29人（累計）	25人（累計）	○										
2 民俗芸能記録保存団体数	地域で伝承されている無形文化財の上演状況等を映像記録保存した数	6団体	8団体	8団体	○										
<p>【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】</p> <p>■ 海外派遣事業について、一定の効果は見られたものの、事業の恩恵を受けられるのは派遣元の学校の生徒に限定されること、ICTにより直接外国とコミュニケーション可能な環境が整備されていることなど、周辺環境も変化してきていることから、当該事業については今年度をもって終了とする。</p> <p>■ 指定無形民俗文化財の継承の一助とするため、計画的に映像記録を作成している。</p> <p>■ 平成30年度は中学校3年生2,883名が受験し、英検3級以上の能力があると測定された生徒は、1,716名（59.5%）であり、国が目標としている英検3級程度50%を上回った。</p>		<p>【参考】小中学校英語教育推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校卒業段階における英検3級以上取得者の率</td> <td>—</td> <td>59.50%</td> <td>60.00%</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>				主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	中学校卒業段階における英検3級以上取得者の率	—	59.50%	60.00%	△
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）											
中学校卒業段階における英検3級以上取得者の率	—	59.50%	60.00%	△											

施策3：誰もがいつでもどこでも学ぶことができる環境の整備

重要業績評価指標（KPI）	説明	策定前実績値（2014）	実績値（2018）	目標値（2019）	達成状況（見込）										
1 公民館利用者数	市内公民館の利用者数	111万人	123万人	114万人	○										
2 あさかの学園大学学生数	高齢者大学「あさかの学園大学」学生数	466人	455人	600人	△										
3 市民一人当たりの図書貸出冊数	市立図書館における図書の年間総貸出冊数/人口	3.4冊	3.7冊	5.0冊	×										
<p>【総括的な評価、次期総合戦略に向けた課題等】</p> <p>■ 公民館利用者数は目標値を達成しているが、利用者の固定化・高齢化が課題となっていることから、若年層の利用促進を図る必要がある。</p> <p>■ 図書館においては中央図書館の長期休館の影響があり、目標値達成は困難である。しかしながら、平成28年度の再開館からは、デジタルアーカイブや音楽配信サービスの導入により、時間や場所に制限されない図書館サービス拡大を図っており、令和元年10月からは電子書籍の導入やこおりやま広域圏での相互貸出サービスを開始予定であり、利用者の拡大が見込まれる。</p>		<p>【参考】生涯学習支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>策定前2014</th> <th>実績値2018</th> <th>目標値2019</th> <th>達成状況（見込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政きらめき出前講座受講者数</td> <td>7,598人</td> <td>12,213人</td> <td>12,000人</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）	市政きらめき出前講座受講者数	7,598人	12,213人	12,000人	○
主な成果指標	策定前2014	実績値2018	目標値2019	達成状況（見込）											
市政きらめき出前講座受講者数	7,598人	12,213人	12,000人	○											